

日本工学院専門学校		開講年度	2019年度		科目名	プロフェッショナルダンス2	
科目基礎情報							
開設学科	ダンスパフォーマンス科	コース名	全コース			開設期	後期
対象年次	2年次	科目区分	必修			時間数	120時間
単位数	4単位					授業形態	実習
教科書/教材	適時レジュメ・資料を配布する						
担当教員情報							
担当教員	MIHO BROWN・Ryosuke・FUKO・TAKA・HAL・KUJINKO・KTR				実務経験の有無・職種	有・プロダンサー	
学習目的							
この科目ではプロダンサーとして必要な高い表現力や理解力を身に付ける実習形式の授業を行います。HIPHOP、JAZZ、GIRLS HIPHOP、クランプ等、様々なジャンルの振付を通して表現力を高めて行きます。また授業を通してオーディションやリハーサルへの臨み方やメンタリティーを学びます。基礎的なダンス技術を修得したうえで、自己の個性を表現する事、またアンサンブルやユニゾンの中でしっかりシンクロ出来るようなダンス技術を身に付ける事を目的とします。							
到達目標							
この科目ではコンサートのバックダンサーや、CM、TVなどプロダンサーとして現場で対応できる基本技術や応用力を身に付けます。ソロ演技等での自己表現力を身に付けるとともに、アンサンブルとして作品作りにも有効な音楽の理解度、ダンスの正確性を高めます。創造性と確実性が両立したダンサー育成を目指します。							
教育方法等							
授業概要	毎レッスンテーマにそった課題振付を反復練習します。また全てのジャンルに通じる音楽を理解してダンスを踊る感覚や踊りに対する取り組み方などプロダンサーとしてのメンタルを養います。						
注意点	レッスン内でもストレッチを行います事前にウォーミングアップをして臨む事。毎回オーディションに臨むような気持ちで臨む事。授業時数の4分3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。						
評価方法	種別	割合	備 考				
	試験・課題	0%					
	小テスト	0%					
	レポート	0%					
	成果発表 (口頭・書面)	50%	授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する				
	平常点	50%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する				
授業計画（1回～15回）							
回	授業内容		各回の到達目標				
1回	MIHO BROWN 表現方法指導①		GIRLS HIPHOPを軸とした振り付け表現を学ぶ				
2回	MIHO BROWN 表現方法指導②		女性的なしなやかな動きと力強いHIPHOPの対比を意識して振り付けを実践する				
3回	MIHO BROWN 表現方法指導③		自己の表現を開放しパッションを意識して振り付けを実践する				
4回	MIHO BROWN 表現方法指導④		既定の振付表現を感情・パッションを意識して実践する				
5回	Ryosuke 表現方法指導①		難易度の高いリズムトレーニングを実践し、基礎技術を振り返る				
6回	Ryosuke 表現方法指導②		アイソレーション、膝の使い方を意識した全身のリズムトレーニングに挑戦する				
7回	Ryosuke 表現方法指導③		音楽をきちんと聞きリズム表現ができているか確認する				
8回	Ryosuke 表現方法指導④		少人数グループに分け正確なリズム取りで振付表現ができているか確認する				
9回	FUKO 表現方法指導①		HIPHOP JAZZを軸とした振付表現を学ぶ				
10回	FUKO 表現方法指導②		しなやかさや艶やかさを意識した振付表現を実践する				
11回	FUKO 表現方法指導③		複数人数で表現する振付表現を実践する				
12回	FUKO 表現方法指導④		2人1組となり複数人数で表現する振付・構成を実践する				
13回	TAKA 表現方法指導①		OLDSCHOOLの要素が含まれたHIPHOPの振付を実践する				
14回	TAKA 表現方法指導②		R&BHIPHOPの要素が含まれたHIPHOPの振付を実践する				
15回	TAKA 表現方法指導③		HIPHOPを軸に様々なジャンルの要素が含まれた振付に挑戦する				
授業計画（16回～30回）							
回	授業内容		各回の到達目標				
16回	TAKA 表現方法指導④		既定の振付に自分が得意なジャンルのフリースタイルをつなげて発表する				
17回	HAL 表現方法指導①		ヴォーグ、ストリートジャズ、ヒールダンスに利用できる表現を学ぶ				
18回	HAL 表現方法指導②		振付の正確性と感情を込めた振付表現の精度を高める				
19回	HAL 表現方法指導③		振付に合わせた身体の強弱、緩急の動きを意識して身体表現を行う				
20回	HAL 表現方法指導④		既定の振付をオーディション形式で審査し、表現力の高い学生を選出し発表する				
21回	KUJINKO 表現方法指導①		ミドルスクールのHIPHOP振付のニュアンスを学ぶ				
22回	KUJINKO 表現方法指導②		GIRLS HIPHOPの振付のニュアンスを学ぶ				
23回	KUJINKO 表現方法指導③		色々なニュアンスを取り入れたHIPHOPの振付を表現できるようになる				
24回	KUJINKO 表現方法指導④		振付の正確性と細かな振りのニュアンスを意識した振付表現を実践する				
25回	KTZ 表現方法指導①		クランプダンスの基礎を学ぶ				
26回	KTZ 表現方法指導②		男性的な力強い動き、早く強く動く振付を実践する				
27回	KTZ 表現方法指導③		感情表現を強く押し出した振付を実践する				
28回	KTZ 表現方法指導④		少人数グループに分かれ既定の振付をそれぞれがどう表現するか考えて発表する				
29回	レベルチェック①		時間内に長めの振付を覚え、正確に且つ自分の個性をのせて表現できるか確認する				
30回	レベルチェック②		既定の振付から自分が考えた振付を作り、振付力を確認する				